

### 三笠フーズ

産地偽装が収まってきたら、今度は食用に使ってはならない米を食用ルートに回してしまったことが騒ぎになってます。

報道で知る限りでは、一方的に三笠フーズが意識的に金もうけのためにやってしまった、今回表に現れなければまだまだつづけていただろう

お考えると恐ろしくなる。この問題が食品業界とは関係のないはずの、製薬業界にも少々影響を及ぼしています。

薬を作る時に使うでんぷんの一部にも流れているらしいのです。米でんぷんは、錠剤を作るとき中の薬を守ったり、あるいは錠剤の表面を覆う時に使われたり、漢方製剤の顆粒化のときに使われます。今回のものがすべてのメーカーに流れたわけでもありません。また、使用するのがごく微量なので体への影響はないと考えられますが不愉快な出来事です。

これは、最近の規制緩和の悪影響ではないかと私は考えます。販売の自由化で誰でもが簡単に扱えるようになったところまではいいことですが、米を扱う精神の問題で、日本人の食を担っているから安全なコメを扱うという仕事人の心までは規制緩和についていかなかった結果であり、小規模な企業でも成り立つように規制されていたはずですが、その枠が緩和されてしまった結果小規模なものが消え、大きいものがより大きくなってしまふ。

その結果大きいものの考え方に狂いが生じると、その悪影響は一気に広域に伝染してしまいます。介護の問題、人材派遣の問題なども同じで、それぞれの企業として小規模でできることを経済効率と大きいものの方がいいことだというような時代の流れにのり、気持ちのない金もうけ主義の蔓延はあってはならないことです。

私たちも、安いからとか便利に走ることなく、よく考えて行動すること、そして、私たちの心までが規制緩和されないよう注意することが大切です。これかを守るため、薬局についても、顔が見える「かかりつけ薬剤師」をつくることをすすめているのです。